

平成 22 年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 3 2 6 9 2      2. 研究機関名 東京工科大学
3. 研究種目名 基盤研究 (C)      4. 研究期間 平成 20 年度 ~ 平成 22 年度
5. 課題番号 2 0 5 2 0 5 2 9

6. 研究課題名 リメディアルの視点から一大学生の英語学習意欲減退調査と学習者自律へのニーズ分析

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
0 0 1 8 4 9 3 7	ウエダ 植田 マミ 麻実	コンピュータサイエンス学部	准教授

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
9 0 3 3 1 5 0 3	イシヅカ 石塚 ミカ 美佳	コンピュータサイエンス学部	准教授
9 0 4 0 9 8 0 5	アガワ 阿川 トシエ 敏恵	恵泉女学園大学・人文学部	講師
2 0 0 5 4 8 3 5	オクダ 奥田 サチコ 祥子	大東文化大学・外国語学部	教授
4 0 4 5 4 1 8 6	カレイラマツザキ カレイラ松崎 ジュンコ 順子	東京未来大学・こども心理学部	講師
3 0 4 6 8 6 2 3	アベ 阿部 エミカ 恵美佳	大東文化大学・外国語学部	非常勤講師

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

本年度(平成22年度)の研究成果は、前々年度に実施したパイロット・スタディと前年度に実施した本調査の結果を学会の発表、論文等を通して発表した事である。

「具体的内容」-国内4回、海外(台北)1回の学会発表を行った。学会発表の内容は、過去2年におけるリサーチから1)パイロット・スタディの結果、2)教師に対してのインタビューの結果、3)大学生二千人あまりに対しての英語学習意欲減退に関するアンケート調査の結果(Likert scalesによる量的分析・自由記述の質的分析)である。1)に関しては、百名あまりを被験者にアンケートを行った。結果はThe Language Teacher, Jan-Feb. 2011に掲載された。2)に関しては中学・高校・大学の教師のインタビュー結果を比較し、ETA-ROCのSelected Papers として掲載された。3)に関しては、大学生二千人あまりに対してのアンケートを実施し、英語学習意欲を無くした経験の無いグループ、無くしたが取り戻したグループ、無くしたままのグループに関して、その間で分散分析、多重比較を行った。結果、因子分析による全体の因子に対して、グループ間で差異が認められた。意欲を取り戻したグループに関しては、彼らが意欲を取り戻すきっかけや努力について独自に学会発表を行った。

「意義および重要性」-これまで意欲減退に関しては、学習者の証言という形で原因が究明されてきたが、本研究では、学習者に加え教師側の声も聞く事で、家庭環境と学習意欲の関わり(ネグレクトや過保護)や、大学入試制度、ゆとり教育といった社会の枠組みとの関係性が浮上した。また意欲を無くしたが取り戻した学習者に注目する事によって、意欲を無くしている時に出会う教師の存在や、英語をどれくらい自分にとって必要と考えられるか、また努力を重ね自己効力感を高める事の重要性などが、学習意欲減退理解への布石として示された。

10. キーワード

- (1) 学習意欲喪失(demotivation)      (2) 動機づけ(motivation)      (3) 学習者の自律
- (4) ニーズ・アナリシス      (5) 英語      (6) 大学生
- (7) リメディアル      (裏面に続く)

## 11.研究発表（平成22年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計(2)件 うち査読付論文 計(2)件

著者名	論文標題			
阿川敏恵,阿部恵美佳,石塚美佳,植田麻実,奥田祥子,カレイラ順子,佐野富士子,清水順	大学生の英語学習における動機減退要因の予備調査			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
The Language Teacher	有り	Janu./Feb. 2011	2011	11-16

著者名	論文標題			
Abe, E., Shimizu, S., Okuda, S., Ishizuka, M., & Ueda, M.	The Voices of Teachers: Encounters with Demotivated Students			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Selected Papers from the Nineteenth International Symposium on English Teaching	有り	Proceedings	2010	163-171

〔学会発表〕 計(5)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名	発表標題	
Agawa, T., Abe, E., Ishizuka, M., Ueda, M., Okuda, S., Sano, F., & Shimizu, S.	Implications of Demotivating Factors in Japanese University English Learning	
学会等名	発表年月日	発表場所
9th Annual PanSig Conference	2010年5月16日	大阪学院大学(大阪)

発表者名	発表標題	
Abe, E., Ishizuka, M., Okuda, S., Shimizu, S., Ueda, M., Agawa, T., & Sano, F.	The Voices of Teachers Facing Demotivated Students	
学会等名	発表年月日	発表場所
9th Annual PanSig Conference	2010年5月16日	大阪学院大学(大阪)

発表者名	発表標題	
Shimizu, S., Abe, E., Ueda, M., Okuda, S., & Ishizuka, M.	What Makes Japanese University Students Overcome their Feelings of Demotivation toward English Study?	
学会等名	発表年月日	発表場所
22nd JUSTEC Conference	2010年7月23日	玉川学園(神奈川)

発表者名	発表標題	
Agawa, T., Shimizu, S., Abe, E., Ueda, M., Sano, F., Okuda, S., & Ishizuka, M.	How do Japanese Students Overcome Their Feelings of Demotivation toward English Study?	
学会等名	発表年月日	発表場所
34th KATE Annual Convention	2010年8月22日	筑波大学(茨城)

発表者名	発表標題	
Abe, E., Shimizu, S., Okuda, S., Ishizuka, M., & Ueda, M.	The Voices of Teachers: Encounters with Demotivated Students	
学会等名	発表年月日	発表場所
ETA-ROC-19th International Symposium and Book Fair On English Teaching	2010年11月13日	台北(Chien Tan Overseas Youth Activity Center) 台湾

〔図 書〕 計 (0) 件

著 者 名	出 版 社		
書 名	発 行 年	総ページ数	
	■ ■ ■		

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出 願〕 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取 得〕 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関する w e b ページがある場合は、U R L を記載すること。

--